



2018

5

Vol. 45

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日:2018年5月1日 第45号

本部事務局 住所:〒120-0023

東京都足立区千住曙町4-16

TEL:03-5813-9251

住みなれたまちで

2018年度 介護職新卒職員 11名入職しました



今年度も東都保健医療福祉協議会に介護新卒職員11名が入職しました。研修後に、すこやか福祉会、医療法人財団健和会、それぞれの事業所へ配属となります。これからどうぞ宜しくお願い致します。

デイサービスセンターかなまち

カフェひろば
(子ども食堂)

オープン1周年



人気のあるけん玉

昨年、葛飾区のデイサービスセンターかなまちでスタートした子ども食堂『カフェひろば』は、1周年を迎えました。地域の皆さん、ボランティアスタッフのみなさん、ありがとうございます。

1周年記念の3月14日は、子ども41名・大人21名・スタッフ15名合計77名の参加でした。

今月は、子どもたちに人気の「カレーライス」にしました。春休みなどの関係でいつもより1週間早い開催でしたが、大勢の子どもたちや大人も来て下さって今回も好評でした。

大量の小松菜の差し入れは、お土産に持ち帰ってもらいました。農家の皆さん、いつもありがとうございます。昔遊びのコマやけん玉は、大人も一緒に楽しんだり、いつも人気があります。

2018年度から、『カフェひろば』は第4水曜日に変更になります。行事やカレンダーの都合で変更する場合がありますが、その都度ご連絡します。是非、ご参加ください。

保育事業部長 紺野 伊久子

社会福祉法人すこやか福祉会 2018年度事業活動計画抜粋

はじめに

すこやか福祉会は、2018年2月27日に法人創設20年を迎えました。今、次の段階にステップアップするために、さらなる事業展開と後継者養成の新たな「発展期」をつくる時期にきています。高齢化の進展や貧困・格差の一層の拡大が進む中で、高齢者福祉や児童福祉をはじめとする様々な社会福祉事業が求められています。私たちはいのちと人権を守り抜く砦として、地域の要求に応え、無差別・平等の社会の実現をめざします。

1. 新たな「発展期」の礎としての2018年度の課題

①すこやか福祉会5ヵ年計画の総仕上げと次期計画策定へ

- エリア事業部制（葛飾・足墨・湾岸・埼玉）の浸透と拡充
- 次期5ヵ年計画（2020年～2024年）策定準備
- 新設認可保育園「野のはな保育園」の成功と企業主導型保育事業への挑戦
- 介護事業の再編：業平の事業移管、複合施設展開、グループホーム運営の再検討
- 創立20周年企画の成功

②「民医連」としての保育事業活動の前進をめざして

- 「健康な体と豊かな心を育む」という保育実践の柱を基本に、保育観を統一した活動
- 保育士・学童指導員不足の中、保育士確保と処遇改善の取り組み強化
- 地域の子どもの貧困や子育て相談、高齢者との交流など、「民医連」的保育活動の前進



③私たちの事業の成否がかかる介護人材の確保と育成

- ケアワーカー魅力発信委員会の活動強化による新卒確保と中途採用対策
- 介護学生委員会と連動した中長期的な人材確保対策
- 基本は離職させない職場づくりで離職率10%以下
- ICTの活用による省力化と経営幹部の継続的な保全・配置・養成

④安全性の取り組みと法的整備

- 日常的なリスクマネジメント：インシデント・アクシデント等の集約・分析・水平展開と対策
- 質の向上や機能強化、多職種協同の視点での対応と法的整備の推進を重視

⑤私たち自らが主体となった平和・社会保障拡充に向けた運動

- 憲法を守るたたかいの一層の前進
- 社会保障改善の運動を大きく前進させるために、事例から学び、行動
- 自治体との連携や政策提言活動、懇談

[続く]



⑥「住みなれたまちで」の理念を追求し、地域や医療との連携に取り組む

- 新たな日常生活支援・総合事業、低所得者向け住まいの確保と整備
- 金のあるなしで差別されない「無差別・平等の地域包括ケア」のモデルづくり

2. 引き続き経営基盤の強化に向けた二つの転換をめざして

施設の老朽化による大規模修繕や働く職員の処遇改善を進めていくために、「必要利益」の確保が必要です。そのために、経営基盤強化に向けた二つの転換をはかります。

ひとつは、「赤字慣れ」から一刻も早く脱却し、すべてのエリア、事業所で、経営改善・黒字化をめざすという発想の転換です。

ふたつめは、経営改善・黒字化に向けて、従来の延長線上にとどまらない取り組みへの転換です。政策動向や地域の要求を見極め、地域における法人の立ち位置を明らかにし、事業所再編、新規事業への挑戦、法人間連携など大胆に検討し、4期以上の連続した黒字確保をめざして引き続き攻勢的な対応を進めます。

寄付の御礼

社会福祉法人すこやか福祉会

常日頃から当法人の社会福祉事業にご協力・ご支援に感謝申し上げます。この間、貴重なご寄付を多くの方々からいただきました。心からお礼申し上げます。

すこやか福祉会 2017年度寄付金収入総額

3,938,410 円

施設の充実に役立つよう、大切に活用させていただきます。

高齢になっても、障がいがあっても、安心して住みなれた地域に住み続けることが可能になるよう、また「いつでもどこでも誰でも安心してサービスが受けられること」ができる介護保障の実現のために、役職員一同、これからも奮闘していく所存です。

どうぞ今後とも、今までと変わらないご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます、お礼にかえさせていただきます。

すこやか福祉会を支援する会主催

● 恒例のすこやか祭り
5月27日に開催します！

すこやか福祉会で一番大きな催しである「すこやか祭り」を今年も開催します！バザー用品や出店だけでなく、昨年子供達や中高校に大好評だった介護体験やゲームコーナー等の催し物もバージョンアップする予定です！

たくさんの企画をご用意しておりますので、地域の皆さまもぜひお気軽にお越し下さい♪



TEL 03-5648-8250 担当：松本

※車は停められるスペースがありません。
あらかじめご了承下さい。

【バザー用品大募集！】

バザー用品の募集も引き続き行なっております。洋服・子供用品・食器・日用品・雑貨等ご家庭でご使用にならなくなった物の寄付していただける方は、上記やすらぎの郷までご連絡下さい。

「すこやか福祉会を支援する会」ご案内

入会をご希望して下さる方は、下記までご連絡願います。申込書及び郵便振替用紙を送らせていただきます。ご質問などございましたらお気軽にご連絡ください。

年会費：個人会員 1000円 団体賛助会員 1口 1,000円

連絡先 TEL 03 (5648) 8250 やすらぎの郷



3月26日におおぜ学童保育所のお別れ会を行いました。

前年度から3年生が中心になり、行事についての話し合いや準備をしてきましたが、「お別れ会」ではバトンタッチ。2年生がどんなお別れ会にしたいか意見を出し合いました。

「みんなで思い切り遊びたい!」ということにまとめ、当日は班対抗ゲーム大会と、みんなでドッジボールをするをことに決定しました。

在所生は、当日までに同じ班の3年生にメッセージカードを記入しました。



3年生は、1年生の頃からの写真を使い、オリジナルのアルバムを作成したり、学童のために話し合い、自分たちの時間を削って写真やイラスト入りのカレンダーを作成してくれました。みんなが見える所に飾っています。

【当日を迎え・・・】

お別れ会当日は、「緊張する…」とソワソワする2年生の司会の言葉から始まりました。前半の班対抗のゲーム大会では、伝言ゲームや50音のカードを使いお題にあった言葉を作るひらがな言葉作りゲーム等を競いました。



ドッジボール大会は、全員校庭に出てA室B室の部屋ごとに分かれ、男女対抗や女の子同士、男の子同士での対戦も行いました。天気も良く暑いぐらいの気温の中、みんなで思い切り体を動かしたのは、とても盛り上がり良かったと思います。

後半は、おやつを食べながら、ゲームの結果発表と、代表の子がお別れの言葉とメッセージカード、カレンダー等を渡し合いました。子どもたちの笑顔と成長が見られた良い会になりました。

おおぜ学童保育所 石川 朋美

クイズ

2月25日、第23回平昌冬季オリンピックが閉会し、約17日間に渡る熱戦

に幕が下ろされました。カーリングでは女子代表が同競技で日本初となるメダルを獲得し、また、試合中のハーフタイムも注目されていました。さて、話題となったハーフタイムの行動は通称なんと呼ばれていたのでしょうか。

- ① もぐもぐタイム
- ② すやすやタイム
- ③ ゴールデンタイム

【クイズ応募のきまり】

◆ハガキまたはFAXで

《氏名・住所・広報誌の感想を明記》

◆商品：抽選でクオ・カードを贈呈

◆締切：2018年6月30日（必着）

◆答え・当選者発表：次号紙面にて



〒120-0023 東京都足立区千住曙町 4-16

「すこやか福祉会 事務局 クイズ係」

FAX 03-5813-9252